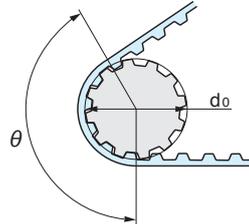


選定条件と選定上の注意事項

ベルトの選定（設計）は、伝動容量もしくは伝達トルクをもとに計算を行います。
計算で求めるのは、ベルト型式とベルト幅ですので、付加仕様の選定についてはご相談ください。
環境などの外的要因については本選定には考慮されておりませんので、使用に際しては事前に適合性の確認をお願いします。

1. 選定に必要な条件

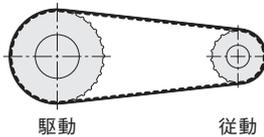
- ①伝動容量： P_0 (kW) 又は伝達トルク： M_{d0} (Nm)
- ②プーリ径： d_0 (mm)
- ③プーリ回転数： n (rpm)
- ④ベルトの巻付き角： θ (°)
- ⑤背面アイドラ数
- ⑥1日の稼働時間
- ⑦1日の起動・停止回数
- ⑧ベルトの使用用途（動力伝動 or 搬送）



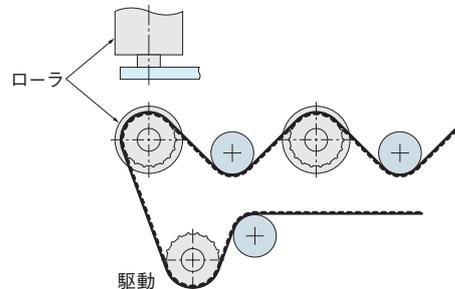
基本的には駆動プーリで選定してください。

但し、動力伝動用途の場合（従動プーリが他にトルクを伝達している場合）には、従動プーリでも計算を行い厳しい条件側で選定してください。

例1) 動力伝動用途のうち、駆動プーリ径>従動プーリ径の場合、
従動プーリでも選定してください。



例2) ローラ駆動の場合、ローラ部プーリでも選定してください。



2. 選定上の注意事項

(1) 伝動容量と伝達トルク

選定に用いる伝動容量又は伝達トルクは実負荷を使用するのが理想ですが、安全を考慮しモータ最大値で計算してください。

(2) 動力伝動用途の場合

動力伝動用途の場合ベルトタイプは、フレックスタイプをご使用ください。

(3) 動力伝動用途及びリニア駆動（104ページ掲載）での使用の場合

ベルト型式は、MAベルト又はATベルトをご使用ください。

※使用環境や用途上、不都合がなければ歯面布張り仕様をご使用ください。（ベルトとプーリの摩擦係数低減）

但し、フレックスタイプの歯面布張り仕様はベルト長さ1.35m以上必要です。

	歯ピッチ (mm)				
	3	5	8	10	20
MAベルト	MA3	MA5	MA8	—	—
ATベルト	—	AT5	—	AT10	AT20

(4) 多本掛けの場合

並列に掛けたベルトに負荷が均一に加わるのであれば、負荷をベルト本数で割った値で計算してください。

但し、負荷が不均一になる可能性があればベルト1本に加わる最大の負荷で計算してください。

(5) 最小プーリ歯数

ベルト型式及び回転数により最小プーリ歯数が変わりますので注意してください。

最小プーリ歯数については、98ページをご覧ください。

(6) 背面アイドラを使用する場合

ベルト型式により最小背面アイドラ径が異なりますので注意してください。

最小背面アイドラ径については、99ページをご覧ください。

尚、ローラコンベアなどの多軸レイアウトで使用される場合は、耐屈曲心線（フレックスタイプ）をご使用ください。

(7) サーボモータをご使用の場合

サーボモータをご使用の場合は、トルクから選定を行なってください。